

名古屋大学博物館野外観察園展示室の展示記録 2016年11月から2018年10月まで

Record of the exhibition at the Nagoya University Museum Botanical Garden
from November, 2016 to October, 2018

吉野 奈津子 (YOSHINO Natsuko)

名古屋大学全学技術センター

The Nagoya University Technical Center, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601 JAPAN

名古屋大学博物館野外観察園展示室で2016年10月から2018年12月までに名古屋大学博物館のサテライト展示を7つ行った。本報告はその記録である。展示の企画、展示者との調整は野崎ますみ（名古屋大学博物館）が行い、会期中の管理は吉野が行った。展示物に関しては展示者が作成を行っている。

(1) 野外観察園ポスター展

主催：名古屋大学博物館

会期：2016年10月31日（月）～2017年1月27日（金）

入園者数：405人

担当：吉野 奈津子（名古屋大学博物館）



図1. チラシ.



図2. 展示室の様子.

はじめに

名古屋大学博物館野外観察園は、もとは約50年前に教養部生物学教室の実験圃場として造られました。研究や実習のための植物を育てる場所として関係者のみが利用できる場所でした。現在のように一般の方々にもご覧いただけるようになったのは、平成16年に博物館へ管理・運営が委ねられ、野外観察園と名前を変えてからのことです。造成地で何もなかったこの土地に当時の生物学教室の先生方によりさまざまな植物が持ち込まれ、現在のような雑木林ができました。温室もあり、約800種の植物がみられます。ブナ科植物はどんぐりから育てられたものです。

「今月の野外観察園」は来園者の方へ見どころを紹介する目的で月1回発行しております。観察園にある植物たちの詳細な情報のみならず、観察園ならではのエピソードもからめてお伝えして参りました。この展示を通して植物たちの知られざる一面を知っていただき、四季折々の豊かな自然をお楽しみいただければ幸いです。

展 示 品：「今月の野外観察園」ポスター（35点）

これなあに？（10点）

植物写真パネル（4点）

キノコ写真パネル（3点）

昆虫写真パネル（6点）

果実の乾燥標本（17点）

（2）博物館友の会写真サークル写真展

主 催：名古屋大学博物館

会 期：2017年2月10日（金）～2017年3月24日（金）

入園者数：343人

担 当：野崎 ますみ（名古屋大学博物館）、吉野 奈津子

ギャラリートーク：2017年2月18日（土）

ギャラリートーク参加者：10人（入園者に含む）

ごあいさつ

このたびは「名古屋大学博物館友の会 写真サークル写真展」にお越しいただきありがとうございます。名古屋大学博物館友の会写真サークルは2013年10月に発足しました。会員の写真歴や撮影対象は様々ですが、三矢保永先生（名古屋大学名誉教授・名古屋産業科学研究所上席研究員）を講師に迎え、年に数回博物館に集まり腕を磨いています。足を伸ばして撮影会を行い、同じテーマに取り組むこともあります。

今回の展示は、テーマを設けず自由に取り組みました。個性あふれる作品をどうぞお楽しみください。博物館で開催されるイベントの撮影は、写真サークルのボランティアが担当し、写真を通じて広く博物館を知っていただく、広報活動にご協力頂いております。

展示作品：写真（28点）

可憐な舞姫,

彩りの季節,

絶滅からの復活,

黄金に染まる樹洞,

森の王者,

晩秋の雄姿,

妹はいいなあ～、
水面に映える色相、
長良川の夜の楽しみ、
半田運河、
破られた静寂、
蘇る力、
もののけの棲、
朝露から望む、

柿を見つけた！、
仲良し小鹿と一緒に立つ木、
あの日の記憶、
狙い澄まして、
大須の洋服店、
赤石岳に初雪到来、
凜、
大好きなハンモックと段ボール

動と静、
水辺のもみじ、
橋杭岩伝説の名残、
火の祭、
格子縞の影絵、
晩秋の山路、
静、



図3. チラシ.



図4. 展示室の様子.

(3) 名大キャンパスの野鳥

共 催：名古屋大学博物館，名古屋大学生物研究会

会 期：2017年4月3日（月）～7月7日（金）

入園者数：975人

担 当：野崎 ますみ，吉野 奈津子

キャンパス探鳥会：2017年4月29日（土）

探鳥会参加者：31人

講 師：周戸 大季（名古屋大学生物研究会）

ごあいさつ

名古屋大学東山キャンパスには豊かな自然林があり、水辺もあり、年間を通じて様々な野鳥が見られ、その数は50種近くにも上ります。

学生サークルの生物研究会では鳥、植物、昆虫などさまざまな分野について調査を行っていますが、東山キャンパス内の野鳥については40年以上も月1回のバードセンサス（野鳥観察会）を続け、データを蓄積しています。これまでも博物館は生物研究会の力を借りて、東山キャンパス内の野鳥の写真やデータの展示を行いました。今回は現生物研究会部長の周戸大季さんを中心に野鳥の写真を集め、写真

を一新して東山キャンパス内の野鳥の紹介に取り組みました。美しい名古屋大学内の野鳥の姿と多様性をお楽しみください。

今回は鳴き声を聞くことができるボイスペンをご用意しております。様々な野鳥の姿と共に鳴き声も楽しんでいただき、キャンパス内の自然に興味を持つきっかけとなっただけでしたら幸いです。

展 示 品：写真（47種52点）

- | | | | |
|--------|----------|---------|---------|
| ミサゴ, | ユリカモメ, | カイツブリ, | オシドリ, |
| カルガモ, | マガモ, | クイナ, | バン, |
| カワセミ, | ダイサギ, | コサギ, | アオサギ, |
| ゴイサギ, | ルリビタキ, | オオルリ, | キビタキ, |
| トラツグミ, | ミソサザイ, | ウグイス, | エナガ, |
| アオジ, | アトリ, | シメ, | コゲラ, |
| アオバト, | オオタカ, | ノスリ, | サシバ, |
| ハヤブサ, | ジョウビタキ, | ツグミ, | シロハラ, |
| ヒヨドリ, | メジロ, | シジュウカラ, | ヤマガラ, |
| スズメ, | ハシボソガラス, | ツバメ, | ハクセキレイ, |
| モズ, | ムクドリ, | キジバト, | ヨシガモ, |
| オナガガモ, | カウウ, | カシラダカ | |

野鳥の巣（5点）、バードセンサスパネル（2点）、ボイスペン（4セット）



図5. チラシ.



図6. 展示室の様子.

(4) 野外観察園のボタニカルアート I 夏と秋の植物 II 冬と春の植物

主催：名古屋大学博物館

会期：I期 2017年7月18日(火)～11月10日(金)

II期 2017年11月20日(月)～2018年3月24日(土)

入園者数：I期685人，II期745人

担当：吉野 奈津子，野崎 ますみ

ごあいさつ

このたびは名古屋大学博物館野外観察園セミナーハウス展示室に足をお運びいただき、ありがとうございます。

名古屋大学博物館友の会では、2007年にボタニカルアートサークルが発足し、東海林富子の指導のもと、月に2回植物好きな仲間が集まり、植物細密画(ボタニカルアート)に挑戦しています。ボタニカルアートサークルの方々を中心に、名古屋大学博物館野外観察園にある植物を描いていただき、2012年度には図鑑形式の図録である「野外観察園ハンドブック」を発行、2013年度には第29回名古屋大学博物館企画展「野外観察園のボタニカルアート」の開催にあわせて「野外観察園ハンドブックII」を発行いたしました。

今回は企画展「野外観察園のボタニカルアート」で展示した作品を中心に、季節ごとにご紹介いたします。ボタニカルアートでは、大きさはもちろん、花びらの枚数や虫食いの跡など、見たままを忠実に描きます。透明水彩絵の具を使用し、白い絵の具は基本的には使いません。紙の白を残すことで光が当たって白く光っているところを表現します。印刷された図録では小さくて見えにくい、植物全体に生えているような毛も、実際の作品をご覧いただくと描かれているのが分かります。すべてを忠実に記録する写真も素晴らしいですが、人の目で植物を観察し、理解した上で描くボタニカルアートには、植物の特徴が、人間が見て理解しやすく描かれている点が特徴です。生の作品でしか味わえない、色合いや繊細さをどうぞお楽しみください。

展示作品：ボタニカルアート

(I期35点)

キョウチクトウ、	クコ、	ヒメユズリハ、
コムラサキ、	オレガノ、	サイカチ、
ホップ、	チェリーセージ、	アカリファ、
フウ、	イヌビワ、	アレチヌスビトハギ、
フヨウ、	ブラシノキ、	スイカズラ、
キササゲ、	フウセントウワタ、	ジュズダマ、
クズ、	オミナエシ、	ハナトラノオ、
ヒメジョオン、	ノコンギク、	サルスベリ、
ショウブ、	ヒメコウゾ、	ヤブミョウガ、
ヒオウギ、	サルビア ガラニチカ、	オオバナイトタヌキモ、
アメリカフヨウ、	ミソハギ、	ヘクソカズラ、
マルバチシャノキ、	ブルビネ フルテスケンス	

(Ⅱ期34点)

クスノキ,
フジ,
ウチワノキ,
ユスラウメ,
カジイチゴ,
アオサンゴ,
カンザキアヤメ,
イロハモミジ,
カニクサ,
イスノキ,
コダカラベンケイ,
ディネマ ポリブルボン

ムレスズメ,
トキワマンサク,
キキョウソウ,
セリ,
フイリツルニチニチソウ,
ハナイカダ,
シャガ,
クロマツ,
ヒトツバ,
トクサ,
サクラ (八重),

シヨウジョウバカマ,
フブキバナ,
フッキソウ,
ダイギンリュウ,
メギ,
ヒメリユウキンカ,
スズカカンアオイ,
ハルジオン,
ヤブソテツ,
シナレンギョウ,
ノイバラ,



図7. チラシ.



図8. 展示室の様子.

(5) 博物館友の会写真サークル写真展

主催：名古屋大学博物館

会期：2018年4月5日(木)～5月11日(金)

入園者数：379人

担当：吉野 奈津子, 野崎 ますみ

ギャラリートーク：2018年4月7日(土)

ギャラリートーク参加者：9人(入園者に含む)

展示作品：写真 (27点)

湿原の息吹,
朝の静隠,

初夏の歌声,
錦秋を待つ,

雪の中のお洒落さん,
天使のはしご,

何の夢を見てるのかな？、
植田，天白川合流する，
小さな街並み，
川面に映える錦，
巢立ち，
厳冬の八ヶ岳連峰，
秋の日差しにつつまれて，

壁に描かれた光と影，
能登の白米千枚田，
晩秋の水辺，
さげび，
華やぎの時，
初秋の御嶽紅葉，
旅立ち，

「こまち」で～す♡，
渡り鳥ジョウビタキ，
藤の二重カーテン，
昭和の記憶，
一休み，
早春の高妻山，
雨上がりの月見草



図9. チラシ.



図10. ギャラリートークの様子.

(6) みんなで撮ったミクロの世界

主催：名古屋大学博物館
会期：2018年5月21日（月）～8月31日（金）
入園者数：824人
担当：野崎 ますみ

展示品：ミクロの探検隊活動紹介パネル（ムシ，放散虫，組織）
ミクロの探検隊で撮影したSEM写真（ムシ32点，放散虫20点，組織19点）
木戸史郎の顕微鏡スケッチによる組織図（複製10点）
花粉のSEM写真（5点）
昆虫のSEM写真（4点）
SEM3D写真（3点）
観察コーナー（放散虫，哺乳類組織）
深海魚を描こう活動紹介パネル
深海魚スケッチ 講師作品（5点），生徒作品（8点）



図11. チラシ.



図12. 展示室の様子.

(7) キノコの写真展

主催：名古屋大学博物館

会期：2018年9月10日（月）～12月21日（金）

入園者数：1,548人

担当：吉野 奈津子, 野崎 ますみ

展示解説とキノコの鑑定：2018年10月20日（土）

講師：中條 長昭（日本菌学会会員）

参加者：215人（入園者数に含む）

ごあいさつ

名古屋大学博物館では2013年に企画展「本物？作り物？ロウ細工？教育標本ムラージュ」の中でキノコのムラージュを取り上げました。サテライト展示では現代の記録法として写真でキノコの展示を行っています。キノコの同定、および写真の提供には中條長昭氏にご協力をいただきました。中條氏は日本菌学会会員として研究活動を行うとともに、市民向けの観察会や田中長嶺事績顕彰会の運営など幅広く活動されています。菌類は研究者の中でも現在何種存在しているのかもはっきりしていない奥深い世界です。少しでもキノコを身近に感じていただきたいという思いから、再び中條氏のお力をお借りして写真展を開催する運びとなりました。今回展示しているキノコの写真はすべて中條長昭氏が撮影したものです。野外で見るキノコは色も形もさまざまです。この展示を通して少しでもキノコに興味を持っていただければ幸いです。

展示作品：キノコの写真（58種60点）

フカミドリガサ,

ヒメツチグリ,

エノキタケ,

硬質菌の幼菌,

シロソウメンタケ,

ドクベニタケ,

アミガサタケ,

クシノハタケ,

オオワライタケ幼菌,

スギヒラタケ,

ウスヒラタケ,

シャカシメジ幼菌,

タマシロオニタケ,

チチタケ,

スッポントケ,

ズキンタケ,

カワラタケ,
イボカサタケ (黄型),
チャタマゴタケの仲間,
クチキトサカタケ,
ヘビキノコモドキ,
アケボノオシロイタケ,
キクバナイグチ,
ケンロクエンウラベニイロガワリ,
キホウキタケの仲間,
オリーブサカズキタケ,
コンイロイッポンシメジ,
ナナイロヌメリガサ,
ホウキタケの仲間,
ヤマドリタケモドキ,

ニンギョウタケ,
オオツガタケ,
ハナオチバタケ,
カエントケ,
キツネノエフデ,
ヒトヨタケ,
クロラッパタケ,

シロカノシタ,
コウモリタケ,
ナメコ,
ヒラタケ,
キヌガサタケ,
ホンシメジ,
ヒイロガサ,
オオムラサキアンズタケの一種,
ミカワクロアミアシイグチ,
ウスキキヌガサタケの仲間,
イタチタケの排水反応,
オオムラサキアンズタケ,
カバイロツルタケ? 幼菌,
アラゲコベニチャワントケ

ナラタケモドキ,
チシオタケ,
コウボウフデ,
ツチイチジクタケ,
ケロウジ
アカヤマドリ,
ハチノスタケ,



図13. チラシ.



図14. 鑑定会チラシ.



図15. キノコの鑑定会の様子.